



デジタルデンティストリー 第2弾

NEWS LETTER Vol.232



歯科用CT

予測の診療からより確実な診療へ

当グループでは基幹医院のイエスデンタルオフィスに歯科用CTスキャンを導入しています。この装置による診断で今までより確実性の高い診断や治療が可能になっています。高額な機器のため各院に設置することが難しく、わたなべ歯科、Weデンタルにご通院の方にはイエスデンタルオフィスまで撮影のためにご足労をおかすこととなりますが、従前はCT撮影のためだけに大学病院などに行っていたいた手間を格段に省くことができました。



歯科治療はお口の中の外科治療

歯科治療は言うなれば、お口の中の外科治療であり、歯だけでなく、お口の周りの骨や筋肉、または神経や血管に対しても配慮が必要です。外からは見えないそれらの骨や神経などに対して、従来は位置や状態の「予測」をおこない治療方針を決めてきました。正しい予測のためには歯科医豊富な知識と経験が必要とされていたのですが、今や科学技術の発達によって見えない部分を限りなく可視化できる時代になったのです。その一翼を担うのがCTスキャンの技術なのです。



2次元から3次元へ 平面から立体へ 予測の診療から確実性の診療へ

レントゲン(X線)撮影は2次元の平面写真であるのに対して、CT撮影は立体的な3次元の情報となります。CT撮影では神経や血管の位置や骨の状態、病状の進行具合まで、さまざまな情報を、3D画像によって確認することができます。



従来のX線写真では「見えなかった」ものが見え、「分からなかった」ものが分かるようになり、より確実な診断や治療に役立ちます。

【レントゲン(X線)画像】



【CT画像】

歯科用CTスキャンで確実な診断が診療にもたらすメリット

●レントゲン撮影などでは見えない部分が見え病状の早期発見に役立ちます



●むし歯や歯周病の進行度が正確に把握でき、適切な治療に役立ちます



●歯の根の病気など、骨にまで及ぶもの、上顎洞との関係などを精密に見ることができます



●親知らず抜歯のときなど、骨や神経の場所や状態を正確に把握して、より安全な治療を始めることができます



●インプラント治療など歯や歯ぐき以外の部分に対しても十分な術前検査が正確にでき、正しい診断やリスクの予見につながります

所属 わたなべ歯科クリニック

今月のMy Staff

所属 Yes! Dental Office



歯科医師 原 大二郎 (はら だいじろう)
将来、一本でも多く歯を残すには、虫歯の治療はもちろん、予防を中心とした歯周病の治療やメンテナンスが大切です。実際、私も当院に就職し改めて予防の大切さを再認識しました。メンバーの一員として皆様のお口の健康に協力させて下さい。



フロント 久米 菜那 (くめ なな)
私は小さい頃から歯医者嫌いでしたが、ある歯科医院をきっかけに歯の大切さを学び、歯科業界で働けば歯の知識を習得しながら自分の歯に対する意識が上がるのではないかと思います。探していたところ当院と巡り合いました。患者様が安心して来院して頂けるよう、また気軽に相談して頂けるよう日々勉強中です!

渡辺 豊の 今月のひとこと

都会では二度目の緊急事態宣言の真っ最中で、しかしフタを開けてみると地方のほうがはるかにそのアオリを食らっているように思います。なぜかと考えてみると地方の人々はまだまだコロナ感染に対する恐怖心が強く、それとやっぱり真面目なんだろうな、と思うのですが自分たちに強く自粛を課すからだ、と思います。このような状況にあって、楽しみがどんどん奪われていってうつ状態になってしまうのは致し方がないんでしょうが、なんとか身も心もこのパンデミックを元気に乗り切らねばなりません。私は個人的には、家で映画を見まくったり、人との接触を避けつつ人気のないところへ行って楽しむ、ということでストレスを発散させています。たとえば静かに後樂園を散歩したり、ひなびた温泉で貸切風呂を楽しんだり、です。楽しみ方は人それぞれと思いますが、うまく乗り切ってください！(理事長)

